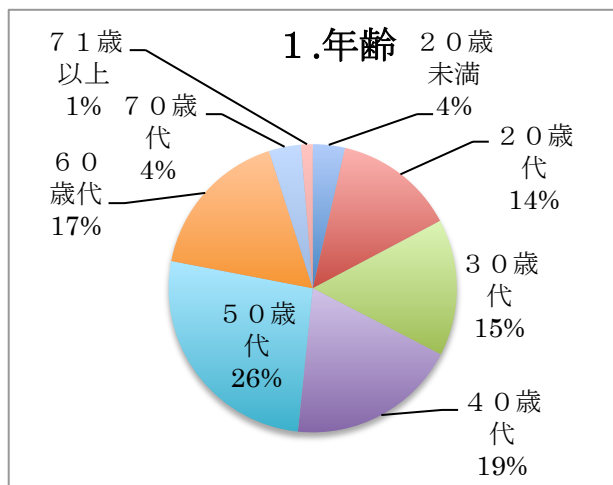


第9回九州在宅医療推進フォーラム in 福岡 (2018/11/3~4) アンケート集計結果

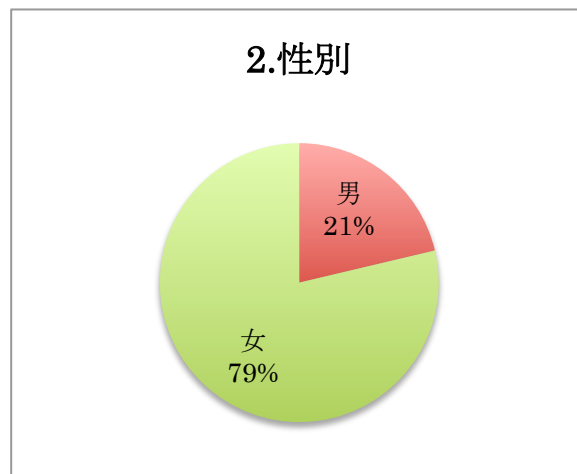
回答者数 305 人

Q1.回答者についてお答えください

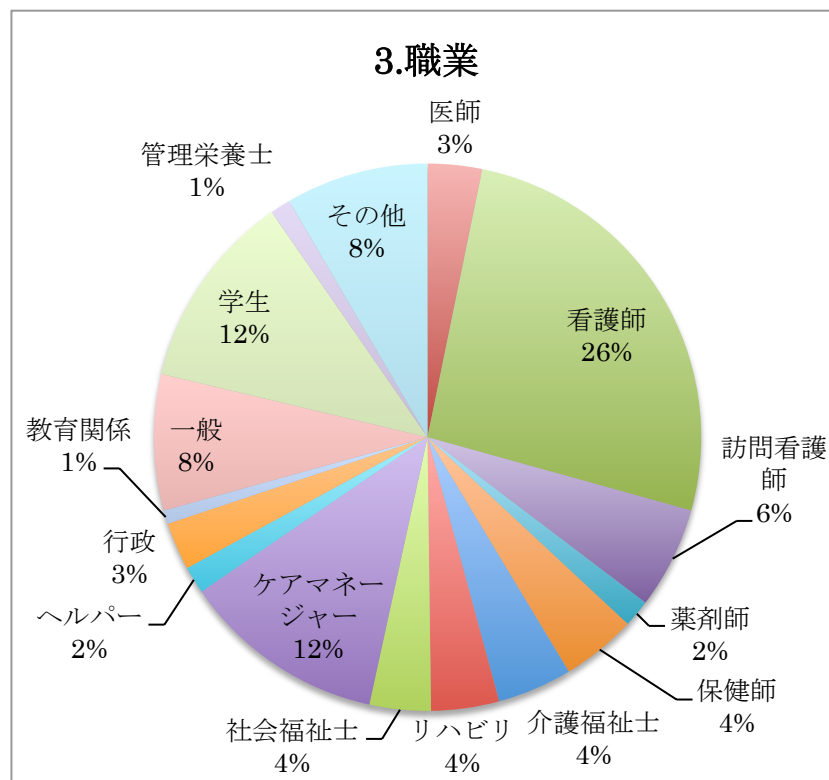
1. 年齢



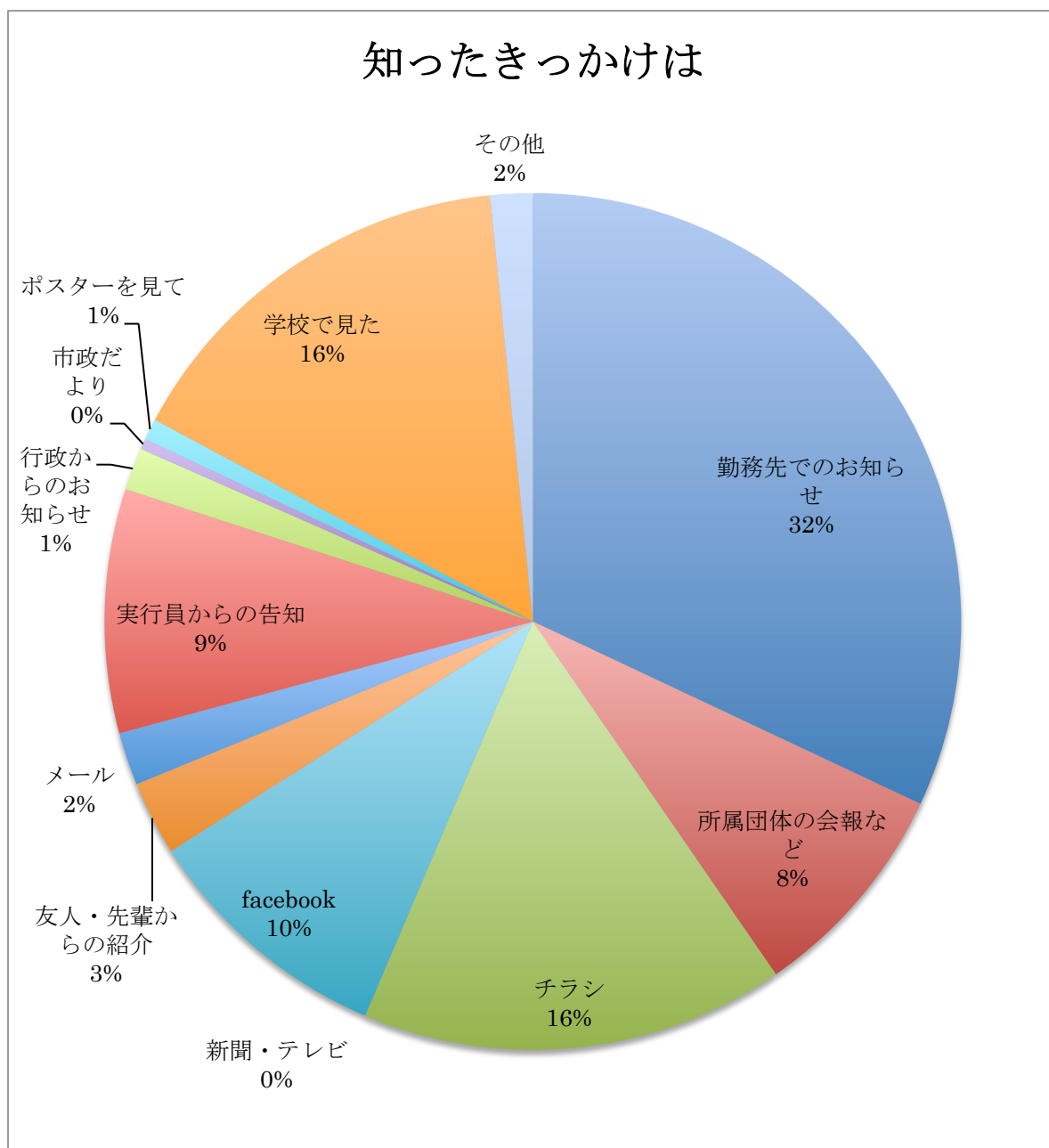
2.性別



3.職業



Q2.このフォーラムを知ったきっかけは何ですか

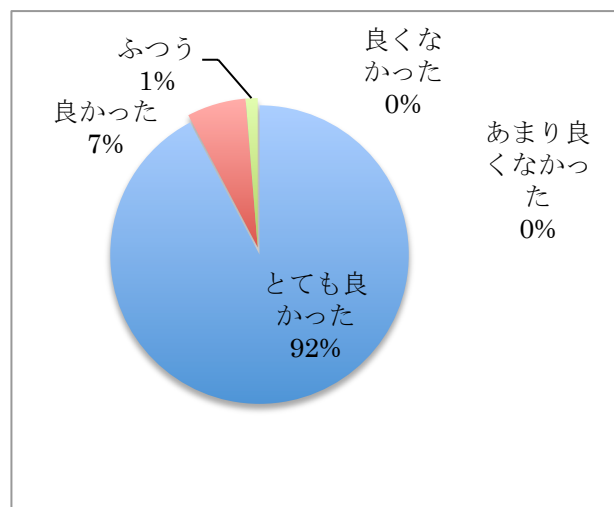


《その他》

- ・ 医師会ホームページ
- ・ 勇美記念財団ホームページ

3.講演、シンポジウムの印象は、いかがでしたか

3日シンポジウム



《3日講演・シンポジウム感想》

- ・ 今迄、出来ていた事ができない歯がゆさが、共感出来た。これからマイノリティーにも合わせるのが当たり前になってほしいと思った。
- ・ パートナーの話、精神と同じだと感じた。
- ・ 認知症についてお話しが聞けてとても感動した。今後このようなサポートが出来る仕事をしたいと強く思った。
- ・ 当人の話を聞いて感動した。主人をずっと（認知症）介護して大変だった事を思い出しました。これから先、地域と関わっていききたい
- ・ 当事者のお話には、色々と考えさせられる事が多かった。有り難うございました。
- ・ 当事者の気持ち、自治体企業が協力して若年性認知症の施設に新設、福岡100プログラムの中に現場の職員の処遇改善とスキルアップ事業
- ・ 当事者の方の気持ちがわかり若年性認知症について再度学びたいと思いました。（ケアマネ）
- ・ 表向きではない真の声がきけて良かった。
- ・ 当事者の方の話を聞き、良かれと思っていた「上から目線の考え」に気づかされた。
- ・ 当事者ファーストをまず考えるという点は非常に良かった。
- ・ 初日のシンポジウム、当事者の方から直接話を聞いて認知症の世界を知る事が出来ました。視点の違い思いが違ふ事、症状や段階によって対応が違ふ為それぞれにあった対応方法が必要である事を再認識した。
- ・ とっても暖かい雰囲気の中で当人の話が具体的で、最後のシンポジウムがとても良かった。
- ・ もっと丹野氏、高橋氏のお話をお聞きしたかった。
- ・ 実際に認知症に悩み乗り越えて来られた方の話を直接聞く事が出来病気になっても明るく生活されている様子をみて、安心しました。自分がもし同じような事になっても受け止められる勇気を頂きました。
- ・ 温かい優しい雰囲気でした。先生の説明がわかりやすく、理解できました。
- ・ 若年性認知症の方の話を聞く事は、初めてでしたが、自分の身に起こりうる事だし、そうなったときに自分や周りの人がどう対応してくれるだろうと考えさせられました。お互い支え合える環境や人、介護しすぎない事、

前向きでいる事、話を聞いて涙が出ました。話が聞けてとても良かったです。

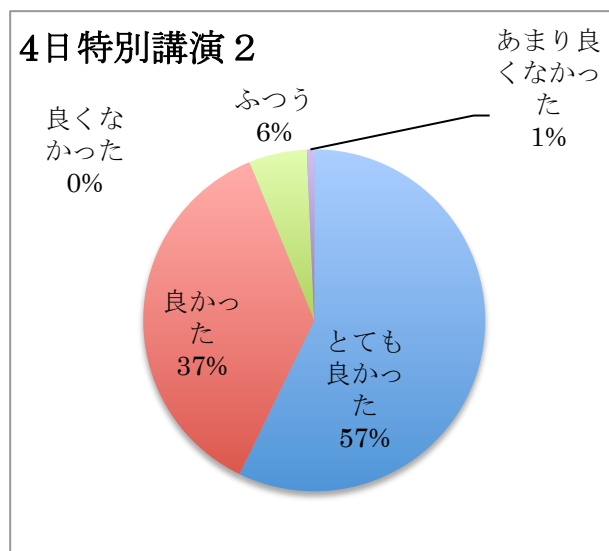
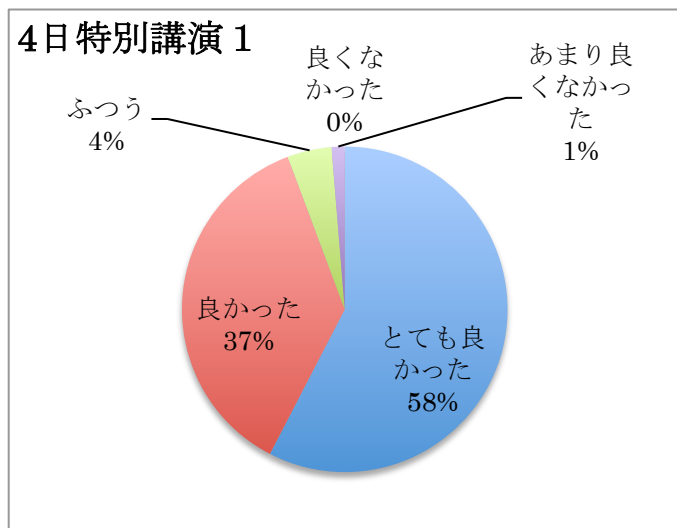
- ・ インタビューの方の内容が聞き取りにくかった。もっと日常生活の中での不便さや工夫されている事を聞きたかった。
- ・ 母が認知症です。福岡市にずっと住んできて福岡市が本気で取り組もうとする事が分かりました。認知症カフェ、他県のニュースで見た「注文を間違える料理店」が福岡市にたくさん出来たら良いなと思います。私も母も福岡市が大好きです。これまでと変わらず、なるべく変わらず生活出来たらと思います。
- ・ 当事者の率直な意見が聞けてよかった(小・中の認知症キャラバンメイト養成講座を古賀市は数年前から取り組んでいます)
- ・ 感動しました。次回も参加したいです。
- ・ 色々と考えさせられる内容で、新たな視点での問いかけであり、参考にして対応していきたいと思います。
- ・ 貴重なお話ありがとうございます。当事者の方が社会貢献したい、出来る事をやりたい思いが伝わりそれが実現する社会を目指す事が大切だと感じました。
- ・ 当事者の方の話を聞いて、支援する事について改めて考え直しました。
- ・ 当事者からの真の気持ちが聞けて勉強になりました。日頃は重度の方ばかりの相応でしたが段階により接し方も重要であると思いました。
- ・ 明るく語られる丹野さんと高橋さんのお話に気づかされる事が多くありました。丹野さん生き方がカッコいいですね。高橋さん歌声がとても素敵、是非コンサートを開いてください。今後の仕事に生かしていきたい
- ・ 当事者の率直な意見が聞けてよかった。どうしても介護者の立場にたってしまい、当事者の気持ちに重点を置いていなかったと思う
- ・ 内容はとても良かった。貴重な生の声が聞けて良かった。
- ・ 若年性アルツハイマーや、MCIの方のお話を聞き、周囲の接し方や声かけ羞恥心の配慮が重要であると理解できこれからのコミュニケーションにつなげていけると思いました。
- ・ 認知症の方のお話を聞いて、自分の看護に活かそうと思った。
- ・ 現在認知症と向きあって生活している方の話を聞いて実際に認知症と戦っている気持ちや思い等を具体的に聞く事が出来、すごく勉強になりました。
- ・ 若くしてMCIを発症された方々の話を聞いて、MCIの方とどう関わるべきなのかを考える事の出来る時間になりました、自分の住む福岡について、新たに知る事が出来た
- ・ 若年性認知症の方のお話を聞いて、誰もがなり得る病気であると知ったため、私もおかしいと思った時は受診しようと思いました。私も実習で認知症の患者様と関わる事が多くありましたが、もう少し患者様が、楽しく過ごせる様に工夫できなかったらと振り返りました。話し方も大事であり、生活の室をあげるためもっと患者様を理解していれば良かったのではないかと思います。認知症の理解につながり勉強になりました。
- ・ 認知症の人への関わり方や自分らしく生きる素晴らしさを学びました。
- ・ 私は、看護の勉強を学校でしており『認知症』という疾患には悪いイメージがありました。しかし今回のシンポジウムに参加し実際の認知症の方の話を聞いて認知症＝終わりではない。様々な生き方があるという事を学ぶ事が出来ました。今回学んだ事を看護師となったときにも活かしたいと思

います。

- ・ 2025年問題に向けて福岡市が動いていると思った。
- ・ 私は看護学生で今までは、認知症の方に『援助をしよう』と言う考えが強かったです。しかし認知症があるからと言って全てが出来なくなる訳ではなく自尊心を考慮し、自分で行う事によって自信にもつながる為接し方、関わり方を考えなおす良い機会になりました。
- ・ 認知症だから功という概念ではなく、その人を見て看護をしていきたいと改めて思いました。

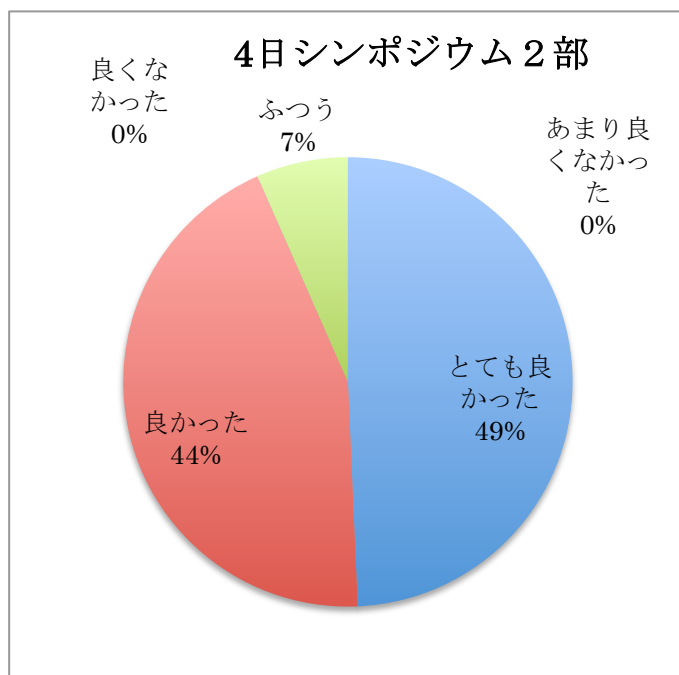
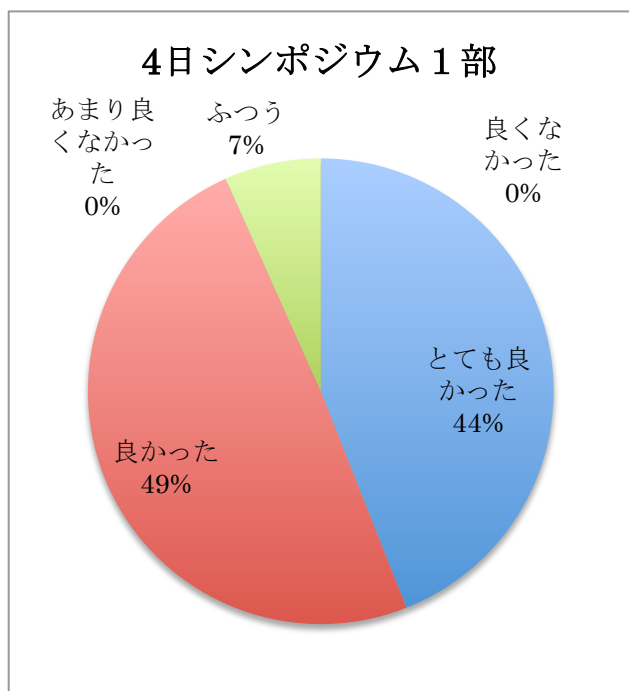
(4日特別講演1)

(4日特別講演2)



(4日シンポジウム1部)

(4日シンポジウム2部)



《4日特別講演1・2、シンポジウム1部、2部 感想》

- ・アットホームな雰囲気、家庭的な雰囲気、楽しい気さくなフレンドリー、知り合いがたくさんいて交流を深める場
- ・主催側スタッフの皆さんの準備や企画力⇒内容が濃くとてもわかりやすいお話、熱意を感じました。参加者の方達の意識の高さにも感動です。
- ・認知症の方のお話が聞けて感動した。健康な私達は、ささいな悩みがあっても深刻にしまうが、ちっぽけに感じもっと頑張りたいと思いました。
- ・熊本県の発表された方の重くならない話し方がとても素晴らしいなと思いました。マネをしたいです。又エンディングノートの取り組みなど病院ではなく行政が取り組んだと言う点にも共感できた。出来る事から少しずつはじめたい、又自分のやれることは？考えさせられる事ばかりでした。
- ・私達だけでは出来ない事、地域との密着が大切南事が改めてわかりました。若い方のボランティアが増えていくといいなと思いました。(ボランティアの方がやはり年配の方が多く思われます。子育て中の方等難しいとは思いますが
- ・現在の在宅医療の課題、現状を知る事ができた。自分自身の事として考える機会になった。ケアマネの実務から離れているので参加して良かった。担当する授業作りに役立てたい
- ・どの方の講演も興味深く勉強になった。丹野さん、高橋さんの言葉は心に響きました。参加して良かったです。
- ・介護支援専門員は、制度や加算や縛りの研修が多く在宅での市民との連携等は地域包括ケアで聞くだけで、具体的な事は点と点でつながっていない事がもどかしい、今回のような特別講義も取り入れていく事え人間力があがるのではないかと思う。
- ・テーマに合わせた内容で各々の意見を確認できる良い機会になりました。
- ・参加して良かったです。当たり前に思っていた事や、どんどん変わっていく時代に無理だろうと思っていた事も手掛かりが見つけれられた気がします。
- ・丹野様のご意見ははっとさせられました。決めつけない事の大切さ必要さを忘れないでいきたいと思います。
- ・いろんな方の立場から話が聞けて良かったです。
- ・当事者の方のお話は普段の業務を振り返るいいきっかけになりました。
- ・初日のシンポジウムで、丹野さんや高橋さんの思いを聞く事が出来自分たちがすべき事を考え直す必要があると強く感じる事が出来大変有意義でした。リヒテルズさんの最後のコメントが非常に良かった。
- ・特別講演2は、時間配分が不出来
- ・多職種の方々の生の意見が聞けて大変参考になった。
- ・特別講演1声が小さく聞こえにくい、早口・特別講演2は哲学的すぎる
- ・講演は勉強になった。エンディングノートに関わる情報は勉強になった。
- ・特別講演はゆっくり話を聞けたら良かったです。
- 先生も慌てて話をして聞きづらい部分もありました。折角なので時間を長く設定してくだされば良かったです。
- ・人がとても多く大きなフォーラムだと感じた。4日のみの参加だったが、内容はたくさんで良かった。
- ・昼休憩の時間がもう少し長いとゆっくり食事が出来るのにとバタバタだった。
- ・amの講演が長く休憩がなかったのは、負担だった。又早口で折角の内容が良く理解できなかったところがありました

た。

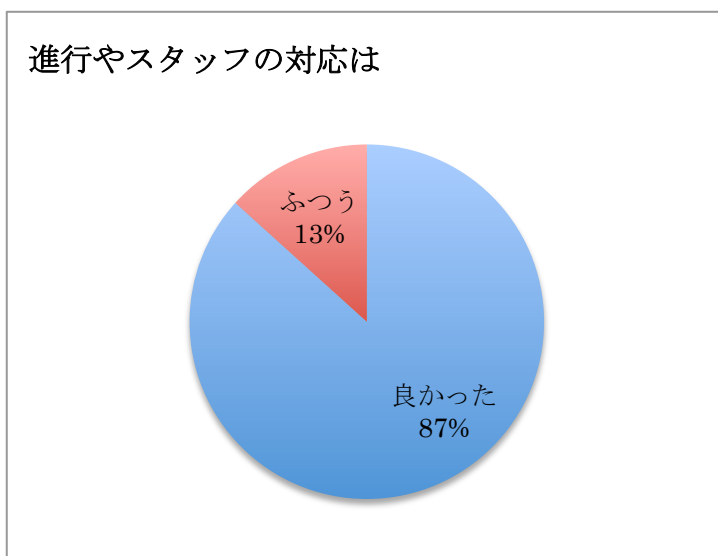
- ・現場の思いが伝わった
- ・当事者の思いを聞く事が出来感動しました。これからも思いに耳を傾けたいと思います。共に考え歩いていければと思います。
- ・日頃の業務の中で、今一度立ち止まって考えさせられる場面が多く大変参考になる内容だった。
- ・在宅医療に従事している人達の熱い思いが伝わり、モチベーションアップになりました。
- ・もっと他県での工夫、そして今後はその結果等も知りたいと思いました。
- ・地域で、在宅医療を支える仕組みを作る事。市民がちゃんと考えていく事が大切だと感じた。地域の課題を把握していこうと思った。
- ・やっている事は素晴らしいが、心に響くものが少なかった。自分自身がもっと関わっていく事で見えてくるものもあるかと思う。
- ・各地域の取り組みを詳しく知れてよかった。
- ・高齢化、認知症、がん患者、慢性疾患など様々な地域の問題がある中サービスや、ボランティアの関わりで支える事。高齢者同士で支える動きがあり、私もその一員になれるように頑張れる目標が持てました。
- ・もう少し話を聞きたいと思う内容で良かったと思います。
- ・ユマニチュードの研修を受けて理解はしていたつもりでいましたが、今までもやもやしていた思いが丹野さんのお話を聞いて凄く納得しました。もっともっと多くの人々特に行政には、聞いて頂きたいと強く感じました。微力ですが私達の周りの人達にこの気持ちを伝え続けていく事が大切だと思います。丹野さんに、出会えて本当に感謝です。
- ・実行委員長の開会で示されたマトリックス「考え方 MAP」を参加者に明示されましたが、テキストに印刷して頂ければ理解と周知徹底が出来たと強く思います。基調となる講師の皆様、及び各県代表の方々を含めて沢山のお話を拝聴させて頂き深い理解と貴重な学び機会をありがとうございました。
- ・行政の取り組みが進んでいる事に驚きました。現状が知れて社会の流れを知る事が出来ました。
- ・リーダーシップ凄いです。つなぐ事、継続する事。ビジョンの共有、知恵、生かし方、出来る事1つ1つ頑張ろうと思います。
- ・シンポジウムの題を大事にした内容だと思います。
- ・とても興味深いものでした。非常に勉強になった。ただ、テーマが「当事者抜きにならないように」といったものだったので、もっと家族会の方、より当事者よりの意見を聞けたら良かったな」というのが気づきです。
- ・各県の色々な工夫がわかりよかった。
- ・現在進行形のテーマであり興味深く聞く事が出来、オランダの話は今後の社会作りについて考えさせられた。
- ・オランダの取り組みや倫理の視点から見た ACP の話が聞けてしかも無料でとても良かった。
- ・1日目は当事者、行政が直接話している状態となっていたので声が届いて良かったと思う。2日目は、流れがテーマに沿っていて良かったと思う。他自治体の取り組みは学ぶところが多かった。普段は患者さんや家族にはいえない事も多いと思うので自ら話してもらう場での話をきくとちがう視点が持てると感じた。
- ・丹野さん、高橋さんの回復ぶり、笠井さんプロジェクト100、ユマニチュード健康まち作り
内田直樹先生のお考え、進行為素晴らしかった。3人演者とも素晴らしかった。考え方が変わりました。
- ・医療の話が中心でありながら学校が社会を考える教育の大切さが聞けたことに深く感じ入りました。
- ・講演1の内容は、大変興味深いもので、日本の超高齢社会を今後いかにより社会にしていけるか

考える時（自分の生き方を考える上でも）様々な角度から勉強するの必要を感じた。講演2は、学問的に濃い内容で多分直ぐ忘れてしまう、ACPをはじめて知ったのは良かった。

- ・浜渦先生の講義はもっと聞きたかった。
- ・認知症になっても自分らしく最後まで地域で住み続けられる様地域で見守り、サロン等と言った出て行く場所作りの必要性も感じた。
- ・新たな発見、学びが沢山ありました。ただ単に聞いただけでなく、この発見、学びを通して新たな取り組み自分に何が出来るか検討実行していく事をすぐにやっていきます。
- ・ピンポイントでの在宅医療の話ではなかったが、包括的ケアの中で教育的側面を考えたり、当事者、家族の思いをより考える、考え直す勉強になった。
- ・オランダの福祉社会の変革、実体がよく理解できました。
- ・4日特別講演1に対して、どうしたら導入して日本でも使えるかという視点が欲しかった。
- ・とても良かったです。当事者がカミングアウトできる偏見のない社会を望みます。
- ・在宅の医療介護の勉強になりました。自分らしい最後自分の望む最後を考え直す機会となりました。
- ・実際の生の声が聞けたことが一番良かったと思うし、アンケート等まとめられた意見でなく心からの言葉だった。
- ・今回のテーマに沿った各発表を聞いて、気をつけて利用者さんの意思を聞いているつもりだったが丹野さんの話等まだまだだと感じた。
- ・少し話が難しかった。
- ・専門的ニュアンスは、わかるが私達には沢山難しい話で現実的な感じがしなかった。
- ・オランダ型市民社会の話はとても参考になりました。思想信条の啓発も大事な事でこれは、やはり教育（行政）の主導が必要ではないかと思いました。
- ・当事者中心の支援の必要性を再確認でき、個別的な支援プログラムの確立をめざしていく事が出来ればと思う。そのための専門職種（コーディネーター）が必要
- ・リヒテルズさんの講演のみの拝聴になりましたが、次回は是非全日程参加したいです。講演中のスクリーンを皆さん熱心に写真を撮られておりました。フォーラムの成果について、出版物になればというニーズが高いと感じました。
- ・4日のみの参加でしたが、自身の親の看取り経験や、仕事での看取りを思い出しながら現在職場での終末期のご利用者様へのケアに役たちそうな事が沢山ありました。実際の現場で向かい合っている医療福祉、ボランティア従事者とお役所の方々（皆さんではありませんが）では温度差を感じます。心あるシステム作りも大事かと市町村によっては不安を感じます。（特に熊本）
- ・鹿児島県の取り組みはとても素晴らしいと思いました。訪問看護に置いても困る事のエンディングノートは必要ではあるがきっかけが難しいですが県の取り組みとして配付されているのであれば考える事が出来ると思いました
- ・先駆的な取り組みをたくさん知る事が出来て有意義でした。
- ・地域住民を巻き込んで地域で支えていく事が必要である事を学びました。ありがとうございました。
- ・一般市民として、の参加でしたがとても有益な内容でした。参加させて頂きありがとうございました。
- ・宮崎市、熊本市の取り組みを各県動いて県医師会がかかりつけ医レベルで高齢者の子の世代への普及するとよいなと思った。
- ・シンポジウムが行政からの発表が多かったので、地域の医療介護チームと行政の連携のものと事例とかの発表を聞きたかった。

- ・エンディングノート作成を考えさせられた。
- ・市町村の様々な活動を知る事が出来おもしろかったです。浜渦先生の話をもっと聞きたかった。
- ・とても良いテーマで雰囲気、理念、スタッフの皆さんの接遇等、素晴らしいです。内容も充実して、日々の実践への新たなエネルギーを頂けたと思います。又参加したいフォーラムでした。
- ・与える側でいる立場上のことしか考えていないことに気づいた。本人の思いを知る事から介入していく事を大切にしたい。勤務地の行政の動きを理解する事が大切と思った。医療現場、在宅、救急、多職種との話し合いが大切、必要性を感じた。
- ・とても勉強になりました。やはり当事者が変わる事。認め合う事が大切である事を感じました。エンディングノートについてもっと知りたかったです。特に独居の人の孤独死をさける為に入院させられ自治体はアパートの解約を迫り自宅に帰る道を絶たれます。自分の住みたい所で最期を！といいながら自治体は逆の事をしている。病院としても困っています。
- ・在宅医療を考える視点がとても進んでいる事、深化していると考えさせられました。ありがとうございました。
- ・ACP の考え方がよくわかりとても参考になりました。
- ・認知症の方としてひとくくりで一様な対応をするのではなく自分の前にいる方がどのような（認知）段階にいるのか、どのようなニーズがあるのか個別的に考えて行く事が大事だと感じました。又、当事者不在のケア、看護とならないように自身の意識の振り返り医療スタッフ同士の話し合い、そして当事者のやその家族との繰り返しのコミュニケーションの重要性を感じました。さらに、自立支援、自立選択が出来る環境作りを今後も考えて行きたいと思いました。
- ・テーマに沿って多面的な視点があり、刺激になった。当事者、教育、哲学、いずれも重要な事なのに、決定の場に置き去りにされがちでもっと色んな場で意識していきたいと思いました。
- ・初日から2日目 合わせ 起承転結 構成がとても素晴らしかった。勉強になりました。特別講演1 ティール組織 信頼で結びつく 信頼関係がある事が社会、自助、互助、共助、公助という言葉の説明なんて必要のない社会だと感じました。私なりに明日からいや今日から1歩を踏み出したいと思う。
- ・各県の取り組みの講演が多かったのですが、事例を含めて話を聞きたかった。オランダの福祉に対する取り組みが素晴らしいと思いましたが、文化等の違いからなかなかマネ出来ないように感じました。

4.本フォーラムの進行や会場、スタッフの対応等

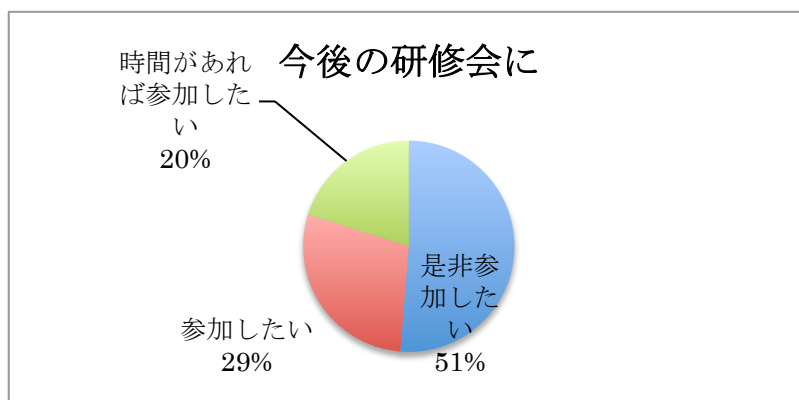


- ・ 3日しか参加していないが途中休憩が欲しかった。座りっぱなしはきつかった。
- ・ 講演を聞く事ができてよかった。あきらめていた事をあきらめないで前だけを見据えていけたら、僕も二人の様に
なれるのかなと思った。自分らしくいこうと思う。これからも宜しくお願いします。
- ・ 認知症家族介護中、福岡市の取り組みが聞けて良かったです。プログラム集が良かった
- ・ 内田先生の進行がハキハキして、明るく良かったです。
- ・ スムーズに受付、入場できた。ユニフォームをそろえていて、スタッフがわかりやすかった。
- ・ 笑顔で親切に対応してくださいました。
- ・ 講演者によっては、マイク音量が足りず聞こえなかった。トイレタイムが必要。
- ・ トイレ休憩が欲しかった
- ・ もう少し、マイクの音が大きいと嬉しかった。丁寧に声をかけてもらった。
- ・ 遅れて入場したにも関わらず、丁寧な対応で席まで案内してくださりました。
- ・ スムーズに準備や、進行をされていてすごく聞きやすかった。入り口でもみなさん笑顔で挨拶してくださって気持ち
が良かったです。
- ・ 丁寧に案内して頂き、又会場の雰囲気も温かいと感じた
- ・ 参加された方に笑顔で挨拶されており、とても気持ち良かったです。進行もスムーズに進められるように工夫さ
れておりとても良い時間となりました。
- ・ とてもためになる、思いやりのあるお話をありがとうございました。
- ・ 時間配分も良かったですし、2階からでもパワーポイントが見やすかったです。スタッフの方も皆さん笑顔で良か
ったと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 懇親会の音楽演奏ライブは、いい歌なんだけど曲を作ったら謳うんだとの思いがあふれすぎて
とても重たかった。もしも演奏してもらえるなら、懇親会よりも日中のシンポジウムの合間
にする。とか時間帯を工夫する必要あり、と思いました。折角の懇親会が沈んだ雰囲気になった。
- ・ 運営はスムーズでシンプル、スタッフの方達は、自分の役割を良く知っておられて、動きはきび
きびしており、気持ちよく挨拶も感じよかったです。綿密な準備が伺えました。
- ・ 二日間お疲れさまでした。素敵な機会を頂ありがとうございました。
- ・ これまでとは違い在宅医療を前面に出したのではなく、住民参画の展開でとても敷居が低くなった感じがした。
- ・ 丁寧に対応してくださった。
- ・ 大変なお世話だったと考えます。お疲れさまでした。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ このフォーラムを開催するにあたり準備が大変だった事でしょう。お疲れさまでした。
- ・ 病院事務職はなぜ、その他？参加想定外？
- ・ 事前申込していたが、実際会場にきても申込みを確認する事もなく資料だけ渡された。事前申込みはないのでは？
近くに座っている方々（Tシャツをきているので、スタッフの方々だと思います）がスマホを見ながら会話をしていた。
耳障り。今の状況では参加したくない。
- ・ 懇親会はテーブルを決めた方が良い。
- ・ 受付が混乱していた。

- ・実行委員の皆様のホスピタリティが素晴らしいと感じました。
- ・マイクの受け渡しがスムーズだと良い
- ・1日目はきちんと準備され、対応も良かったと思います。2日目は、入り口で少しもたつきがあった様に思います。
- ・3日は会場内が寒かった。スタッフの対応はとても良かった。内容も素晴らしく時間が足りないくらいでした。これまで今日の開催に至るまで皆さんの力が大いに発揮された素晴らしい会になったと思います。
- ・駅から近い会場だったので、参加しやすかった。又参加したいと思います。
- ・随所での声かけ対応素晴らしかった。
- ・沢山のスタッフの方がおられて案内等、丁寧にやって頂きました。ありがとうございました。
- ・ホール内への出入りが多く、気が散った。発表の途中での出入りは控えて欲しかった。ホール内が寒かった。スタッフがTシャツが着用してくださり、わかりやすかった。弁当支払い、配付食事処の工夫が良かった。ありがたかった。次回はwifi付けてください。
- ・在宅に関わる書籍販売コーナー、ドリンクコーナー等あれば良かったです。
- ・多くのスタッフ（ボランティア？）さん達がいらっしゃって細やかに対応して下さいました。
今後自分たちが研修会開催時には、参考にさせていただきたいと思います。
- ・タイムスケジュールがきつくて、トイレ休憩が取れずに、開演中の出入りがあったと思う。
- ・スタッフの皆さんがいきいきと笑顔で働いておられてこれこそ地域包括ケアだと感じました。
- ・4日の特別講演はもう少し時間があれば良かったと思いました。
- ・スタッフの方々はとても親切で助かりました。
- ・申し込んだのに名前がなかったりで戸惑った。
- ・一日は長いと感じた
- ・スタッフさんがとても多くて驚きました。こんなにサポートして下さるスタッフさんがいる。というのは日頃の福岡の連携、顔の見える関係があるからこそですね。Tシャツも着ていらっしゃったことで、わかりやすかったです。感じた事としては、確かに時間は守るのも大事ですが、客席からの質問も非常に勉強になるものなので、私個人としては多少時間が過ぎても聞きたい・・・かなと思います。難しいですね。
- ・駅に近くて参加しやすかった（交通の便）
- ・1日目は認知症、2日目は在宅医療で、もう少しテーマをしぼっても良かったのではないかと
思いました。
- ・お世話が行き届いていました。ありがとうございました。
- ・食事を摂るところが少なかった。
- ・準備、当日、後片付け迄ピンクと緑でチームワーク感じました。素晴らしい、ありがとうございました。
- ・沢山のボランティアの方々が活躍されているのに感動しました。ありがとうございました。
- ・休憩なしは、トイレ等困ります。トイレへいこうとすると帰ると思われました。
- ・玄関外より案内がありとてもわかりやすかった。
- ・館内も広かったが親切に対応して頂き、ありがとうございました。
- ・とても暖かかったです。子供連れでしたが、皆さん笑顔で対応してくれました。

- ・ 子供をこんな難しい研修に参加させるのは、無茶ではないでしょうか、親なんだからその辺は考えて欲しかったですね。
- ・ 細やかな心配りに感謝致します。ありがとうございました。
- ・ 午前中の講演のみの参加でしたが、貴重な時間でした。感謝します。
- ・ 良くまとめられた素晴らしい会でした。
- ・ スムーズな案内で元気よく感じが良かったです
- ・ スライドあるものは、スライドを印刷したのも欲しい。
- ・ 弁当がわるい
- ・ 会場もわかりやすく規模も丁度よく、参加しやすさ開きやすさを感じ、印象はとても良かった。
- ・ とても感じの良い丁寧な対応をしてくださった。親切に席まで案内、介助して下さいました。
- ・ 会場スタッフ数が多く来場者一人一人にきめ細かい対応が出来ておられました。1部の参加でしたがとても素晴らしかったです。どうもありがとうございました。
- ・ シンポジウムは遠い県を早く持って来て欲しいと思います。福岡の隣の県が早くて、明日は仕事です。あまり遅くならないうちに帰りたい。
- ・ 講演が長くなり、質問の時間がなかった。会場の人の発表の際マイクがすぐこなかった。
- ・ 地域住民を巻き込んで地域で支えていく事が必要である事を学びました。ありがとうございました。
- ・ スタッフの方が一生懸命運用されているのが伝わる。手をあげていた質問したかった方が残念
- ・ 参加人数が最後少なかったのが残念。
- ・ 笑顔、挨拶、気配り、目配り、心配りを個々のスタッフが自覚されて来場者に接しておられた
- ・ と思いました。ありがとうございました。お疲れさまでした。
- ・ 時折スクリーンの字が小さかった所がありました。もう少し大きく出して欲しかった。(前の方に座りました)
- ・ 同一のTシャツを着ていたのでわかりやすかった。きめの細かい配慮ありがとうございました。
- ・ とてもきれいな会場で快適に講演を聞く事が出来ました。皆さん、とても丁寧に対応して頂
- ・ 気持ちが良かったです。Tシャツがとても素敵でした。お世話になりました。
- ・ 昼食会場の手配や、垂れ幕を迅速に修正されるなど、運営チームの対応が素晴らしいと思った。
- ・ 要所要所にスタッフの方がいらっしゃって誘導して頂きました。丁寧な対応でフォーラムに集中出来ました。準備、手配等ありがとうございました。

5. 今後、在宅医療関連の研修会や勉強会があったら



☐ 申込み登録者数 9 6 5 名

☐ 参加者実数 8 6 4 名

☐ 都道府県別参加者数

福岡県	沖縄県	鹿児島県	宮崎県	熊本県	大分県	長崎県
7 2 7 名	5 名	1 4 名	2 3 名	3 3 名	15 名	3 7 名
佐賀県	大阪府	徳島県	山口県	東京都	神奈川県	千葉県
4 6 名	2 名	2 名	1 名	2 名	1 名	1 名

☐ 職種等別参加者数

医師	歯科医師	看護師	ケアマネ	介護職	ソーシャル ワーカー	PT/OT
8 5 名	9 名	2 3 9 名	6 8 名	8 1 名	2 6 名	4 6 名
薬剤師	行政	管理栄養士	市民	学生/教員	メーカー等	
3 8 名	3 7 名	5 名	9 0 名	7 8 名	1 3 名	

☐ 当日参加申込み

11/3 49 名 11/4 30 名

☐ 第9回九州在宅医療推進フォーラム in 福岡 実行委員 2 7 名

☐ ボランティア 4 8 名

2018/11/25